

かがわ文化芸術祭2019主催公演

讃岐八景

—文学・音楽・踊り・映像で描く玉藻の国—



- 第一景 万葉集を歌う
- 第二景 朗読「扇と弓」
- 第三景 あたごの浦
- 第四景 オペラ「二十四の瞳」
- 第五景 校歌に歌われた讃岐の風景
- 第六景 俳句「讃岐富士」
- 第七景 青春デンデケデケデケ
- 第八景 合唱「帰郷」

2019 11.17 日

開演 14:00～ 開場 13:30～
 レクザムホール 香川県 県民ホール
 小ホール

チケット料金 [全席自由] 一般:2,000円 | 学生:1,000円 / 発売日:10月5日(土)

讃岐八景 -文学・音楽・踊り・映像で描く玉藻の国-

第一景 万葉集を歌う

柿本人麻呂の長歌に、大山晃(かがわ文化芸術祭実行委員会委員・作曲家)が曲をつけました。合唱曲「玉藻よし」、本邦初演、乞うご期待!

合唱: コレギウム・ムジクム高松、四国二期会オペラ合唱団

第二景 朗読「扇と弓」

菊池寛による「源平盛衰記」の「扇と弓」の章から、屋島の戦いで那須与一が平家方により船に掲げられた扇を弓で射落す場面を朗読し、舞台上で表現します。

第三景 あたごの浦

讃岐の昔話「あたごの浦」という可愛くて面白いお話を、パフォーマンスカンパニー リトルウィングが讃岐弁を用いて演じます。



パフォーマンスカンパニー
リトルウィング

第四景 オペラ「二十四の瞳」

壺井栄の小説「二十四の瞳」を、山本恵三(かがわ文化芸術祭実行委員会委員・脚本家)による台本と大山晃による作曲で、短いオペラにして初演します。出演: 林里美(大石先生役・ソプラノ)氏ほか。



林里美



オリーブ少年少女合唱団

第五景 校歌に歌われた讃岐の風景

学校の校歌の中には、その土地の風景が描かれています。その中から今回は、東讃の風景が表現された校歌を紹介します。

第六景 俳句「讃岐富士」

平成30年度香川県文化芸術新人賞を受賞した俳人 涼野海音氏による句集「讃岐富士」を紹介します。

第七景 青春デンドケデケデケ

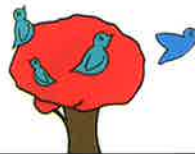
香川県出身の直木賞作家芦原すなお氏による「青春デンドケデケデケ」の朗読と、芦原すなお氏率いる伝説のおやじバンド「ザ・ロッキング・ホースメン」による、讃岐弁を巧みに取り入れた「観音寺ウーマン」、「こんかい」などをお楽しみください。



芦原 すなお 氏 ザ・ロッキング・ホースメン

第八景 合唱「帰郷」

フィナーレは、1997年に開催された国民文化祭・かがわのテーマ曲として、さだまさしが作詞・作曲した「帰郷」の合唱を披露します。



涼野 海音 Suzuno Umine

[俳人・平成30年度香川県文化芸術新人賞・第六景]

昭和56年、香川県生まれ、俳誌「晨」同人。
第一句集『一番線』(文学の森、平成26年)。
平成30年、第31回村上鬼城賞正賞、受賞。
平成31年、平成30年度香川県文化芸術新人賞受賞。
超結社句会「香川・灯台句会」代表。



大津 奈美子 Otsu Namiko

[朗読・司会進行]

香川県高松市出身。
ナレーター、フリーアナウンサーとしてテレビ番組やCMなど、大阪・広島・高松を中心に活動。
おしゃべりサークル講師。FM香川「Brillante! ~四国の輝く人たち~」「街クラシック in 高松」「UDON楽カウントダウン高松」など香川県内での司会多数。
趣味: 三味線、日本民謡、山登り。

管弦楽: 大山晃指揮・高松コンテンプラリーソリスト

写真提供: 森川輝男

チケット料金[全席自由]: 一般: 2,000円 | 学生: 1,000円

チケットについて: インターネット予約 <http://kenminhall.com/ticket/> (24時間受付)

*WEB会員は無料で登録いただけます。

チケット発売日: 10月5日(土)

プレイガイド: 10月5日(土)より一般発売

デュークショップ高松店: 087-821-2345、香川県庁生協: 087-832-3822、高松市役所生協: 087-839-2043、

竹内楽器: 087-862-5009、ミヨシヤ楽器店(丸亀): 0877-25-1234、三豊市文化会館マリンウェブ: 0875-56-5111、

ミュージックセンターオオサカヤ観音寺本店: 0875-25-2201、観音寺市民会館: 0875-23-7600

*発売開始時間は各店舗により異なります。

公演・チケットについてのお問合せ: レクザムホール Tel 087-823-5023

かがわ文化芸術祭実行委員会 事務局(香川県文化振興課内) Tel 087-832-3785

